

平成十八年度事業報告及び決算報告

▽平成十八年度事業報告△

1 鑑賞研究事業

(1) 本部主催鑑賞研究会

平成十八年度「刀剣鑑賞会」は、八月・十二月を除き毎月第二土曜日を実施。各回平均五四名参加。

(2) 支部主催鑑賞会

支部鑑賞会等への講師派遣・鑑定刀貸与

各支部の活動に協力し、その要請に応じて、講師の派遣と参考刀・鑑定刀の貸与を行った。

平成十八年度の講師派遣と鑑定刀貸与延べ一三七回、鑑定刀貸与のみ延べ二一回。

講師派遣に伴う旅費の本部負担は一支部あたり上限三回とした。

また、講師及び支部が携行する貸し出しの刀剣類について、それぞれ評価のうえ損害保険を契約して、損害防止に対応した。

なお、保険料の半額は支部負担とした。

2 講習会及び研修会事業

(1) 美術刀剣製作技術保存研修会

(イ) 刀職技能訓練講習会

第二十回講習会は会場を岡山県瀬戸内市の「備前長船刀剣博物館」で行い、刀身仕立の部・柄下地の部・刀装金具の部の三部門を同時開催として、六月二十七日～同月二十九日の三日間で実施した。

受講者は、刀身仕立の部八名、柄下地の部二名、刀装金具の部二名。講師は刀身仕立の部は刀匠の上林勇二、柄下地の部は柄巻師の岡部久男、刀装金具の部は白銀師の中田育男の各講師が担当した。

(ロ) 刀剣研磨・外装技術研修会及び鍛冶研ぎ研修会

第三十九回刀剣研磨・外装技術研修会及び第三十三回鍛冶研ぎ研修会を当協会四階講堂において実施した。研磨の部と鍛冶研ぎの部は八月二十一日～同月二十三日、外装の部（鞘の部、柄の部、鍔の部）は八月二十四日～同月二十六日の各三日間開催。

特別研修生八名、研修生九名、聴

講生四九名、計六六名の参加があった。講師は研磨の部は研師の永山茂、本阿弥道弘、藤代興里、河本宏和、鍛冶研ぎの部が刀匠の吉原莊二、宮入法廣、鞘の部が鞘師の前田幸作、柄の部が柄巻師の三谷修史、坂入真之、鍔の部が鍔師の中田育男の各講師が担当した。

(ハ) 作刀技術実地研修会

島根県仁多郡奥出雲町の「日刀保たたら鍛錬道場」において、第二十四回作刀技術実地研修会を実施した。九月二十五日～同月二十八日の期間で、特別研修生二名、研修生六名、聴講生二三名の参加があった。講師は刀匠の三上孝徳、上林勇二、宮入恵の各講師が担当した（研修は三カ年をもって修了）。

(2) 文化庁主催

美術刀剣刀匠技術保存研修会
平成十八年度美術刀剣刀匠技術保存研修会が、島根県仁多郡奥出雲町の「日刀保たたら鍛錬道場」で開催された。協会は協力事業として、講師の派遣及び施設の提供等について

3 審査公開事業

支援をした。実施日は平成十八年九月二十七日～十月四日。

(1) 刀剣・刀装・刀装具の審査

保存刀剣 受付点数 五、九一二
合格点数 三、七二三
保存刀装・刀装具 受付点数 三、三三五
合格点数 二、四五二

特別保存刀剣受付点数 一、七〇七
合格点数 九〇七

特別保存刀装・刀装具 受付点数 三、八二二
合格点数 二、七二二

重要刀剣 受付点数 一、〇〇一
指定点数 一一四

重要刀装・刀装具 受付点数 三、六一一
指定点数 五九九

特別重要刀剣受付点数 三、四八
指定点数 五二

特別重要刀装・刀装具 受付点数 四、七
指定点数 六

(2) 新作名刀展

平成十八年新作名刀展を文化庁後援で開催した。作刀の部一九点、彫金の部三〇点、刀身彫の部九点の出品。審査の結果、特賞九点、優秀賞二点、努力賞一点、入選九八点があり、平成十八年六月六日に受賞作品の表彰を行った。入選作品以上について平成十八年六月六日～同月十八日、刀剣博物館で一般公開し、入場料を無料とした。

また、六月二十四日から七月十三日まで大阪城天守閣においても同展が開催された。

なお、九月七日から九月十三日の七日間、全日本刀匠会主催、当協会後援で、渋谷東急本店において「平成十八年現代名刀展」が、同じく九月二十七日から十月四日の四日間、三匠会主催、当協会後援でながの東急百貨店において「平成十八年現代名刀展」が開催された。

(3) 刀剣研磨・外装技術発表会

第五十九回刀剣研磨・外装技術発表会を実施した。出品点数一二二点。審査の結果、特賞七点（研磨六、白銀一）、優秀賞二点（研磨五、刀装一、白鞘三、柄前二、白銀一）、努力賞一九点（研磨一〇、刀装二、白鞘二、柄前二、白銀三）、合計三八点が入賞。

展覧会実施状況（主催・後援含む）

| 名 称 | 期 間 | 主 催 | 後 援 | 会 場 |
|----------------------------------|-------------------|-----------------------|----------------------------|-----------|
| 古 刀 新 刀 名 作 展 | 3月28日 5月21日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 全日本刀匠会信越北陸支部展 北 信 越 の 現 代 刀 工 | 4月15日 6月18日 | 坂城町鉄の展示館 | 協 会 本 部 会 全 日 本 刀 匠 会 | 坂城町鉄の展示館 |
| 日本名刀展シリーズ 庄内に伝わる大和・美濃の古刀 | 5月9日 5月22日 | (財)致道博物館 | 協 会 本 部 | 致 道 博 物 館 |
| 第19回特別重要刀剣等新指定展 | 5月23日 6月4日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 平成18年新作名刀展 | 6月6日 6月18日 | 協 会 本 部 | 文 化 庁 | 刀 剣 博 物 館 |
| 古 刀 新 刀 名 作 展 | 6月20日 10月22日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 特別展「日本刀の華 江戸の名工 虎徹と清磨」 | 7月1日 8月1日 | 佐野美術館 三島市・三島市教育委員会 | 協 会 本 部 静 岡 県 教 育 委 員 会 | 佐 野 美 術 館 |
| 「鈴木嘉定コレクション展」 ～ 名 刀 へ の 誘 い ～ | 9月2日 11月5日 | 坂城町鉄の展示館 | (協会本部協力) | 坂城町鉄の展示館 |
| 第52回重要刀剣等新指定展 | 10月24日 12月3日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 第59回刀剣研磨・外装技術発表会 入賞作品展 | 12月5日 12月17日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 新 春 名 刀 展 | H19年1月6日 3月25日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |
| 古 刀 新 刀 名 作 展 | 3月27日 6月3日 | 協 会 本 部 | | 刀 剣 博 物 館 |

授賞式は、十二月一日に当協会講堂において行った。

また入賞作品については、刀剣博物館において、十二月五日から同月十七日まで公開・展示し、入場を無料とした。

4 伝位に関する事業

平成十八年度の伝位審議会を開催し、申請九名について審議の結果、初伝位一名、中伝位待遇七名、計八名が授与された。

5 刀剣博物館事業

(1) 刀剣博物館入場者

| | |
|-------|---------|
| 一般 | 一〇、七五八名 |
| 一 会 員 | 一、七五二名 |
| 学 生 | 一、〇三八名 |
| 招 待 者 | 五七九名 |
| 中学生以下 | 一、一〇八名 |
| 団 体 | 二三四名 |
| 計 | 一五、四六九名 |

(2) 展覧会実施状況(主催・後援含む)別表のとおり。

6 会誌『刀剣美術』の発行事業

会誌『刀剣美術』を月刊で、平成十八年度は第五九一号から第六〇二号まで発行し、会員に配布した。

編集スタッフは、協会職員のほかに専門分野に通じた協会役員を交え、毎月定期的に会合・協議して誌面の充実につとめた。

7 資料の整備及び活用事業

刀剣・刀装具等に関する文献のほか、参考資料の収集につとめ、研究者の利便を図った。資料室では、会

8 寄託事業

員の資料のコピーサービス(有料)にも応じた。

刀剣・刀装・刀装具及び甲冑・武

具、文献等の寄託に応じ、その管理、保存を行った。

平成十八年度の新規寄託申込みはなかった。

収支計算書総括表

自平成18年4月1日 至平成19年3月31日

| 収入の部 | | | | | (単位:円) |
|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|--------|
| 科 目 | 一般会計 | たたら特別会計 | 補助金特別会計 | 合 計 | |
| 寄 付 金 収 入 (当初予算額) | 0 (300,000) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (300,000) | |
| 補 助 金 収 入 | 1,600,000 (2,000,000) | 0 (0) | 2,650,000 (2,650,000) | 4,250,000 (4,650,000) | |
| 会 費 及 び 入 会 金 | 370,538,962 (329,350,000) | 0 (0) | 0 (0) | 370,538,962 (329,350,000) | |
| 基 本 財 産 収 入 | 17,691,775 (13,800,000) | 0 (0) | 0 (0) | 17,691,775 (13,800,000) | |
| 事 業 収 入 | 0 (0) | 20,037,130 (20,000,000) | 0 (0) | 20,037,130 (20,000,000) | |
| 特 定 預 金 収 入 | 0 (20,000,000) | 0 (10,000,000) | 0 (0) | 0 (30,000,000) | |
| 諸収入及受取利息 | 38,348,876 (34,500,000) | 390,403 (50,000) | 0 (0) | 38,739,279 (34,550,000) | |
| 繰 入 金 収 入 | 0 (0) | 0 (0) | 4,694,380 (0) | 4,694,380 (0) | |
| 当 期 収 入 合 計 | 428,179,613 (399,950,000) | 20,427,533 (30,050,000) | 7,344,380 (2,650,000) | 455,951,526 (432,650,000) | |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 | 75,438,030 (75,438,030) | 3,369,909 (3,369,909) | 0 (0) | 78,807,939 (78,807,939) | |
| 前 期 繰 越 収 支 差 額 調 整 額 | △18,994,758 | 0 | 0 | △18,994,758 | |
| 当 期 収 入 金 額 合 計 (当初予算額) | 484,622,885 (456,393,272) | 23,797,442 (33,419,909) | 7,344,380 (2,650,000) | 515,764,707 (492,463,181) | |
| 支出の部 | | | | | (単位:円) |
| 科 目 | 一般会計 | たたら特別会計 | 補助金特別会計 | 合 計 | |
| 人 件 費 (当初予算額) | 178,730,294 (202,400,000) | 6,749,449 (6,750,000) | 0 (0) | 185,479,743 (209,150,000) | |
| 管 理 費 | 45,922,815 (59,252,000) | 866,928 (2,835,000) | 0 (0) | 46,789,743 (62,087,000) | |
| 事 業 費 | 138,753,775 (180,597,000) | 7,429,595 (10,335,000) | 4,934,601 (8,775,000) | 151,117,971 (199,707,000) | |
| 補助金等事業助成費 | 0 (0) | 332,965 (0) | 2,409,779 (3,285,000) | 2,742,744 (3,285,000) | |
| 研 究 費 | 0 (0) | 0 (100,000) | 0 (0) | 0 (100,000) | |
| 繰 入 金 支 出 | 0 (0) | 4,694,380 (0) | 0 (0) | 4,694,380 (0) | |
| 予 備 費 | 0 (0) | 0 (1,000,000) | 0 (0) | 0 (1,000,000) | |
| 当 期 支 出 合 計 | 363,406,884 (442,249,000) | 20,073,317 (21,020,000) | 7,344,380 (12,060,000) | 390,824,581 (475,329,000) | |
| 当 期 収 支 差 額 | 64,772,729 (△42,299,000) | 354,216 (9,030,000) | 0 (△9,410,000) | 65,126,945 (△42,679,000) | |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額 (当初予算額) | 121,216,001 (14,144,272) | 3,724,125 (12,399,909) | 0 (△9,410,000) | 124,940,126 (17,134,181) | |

9 たたら事業

たたら操業を二代実施（平成十九年一月十四日から同一月二十七日）し、伝統技術の保存につとめた。なお、製造された玉鋼については、刀匠に配布し便宜を計った。

同じく国庫補助事業として、村下養成員一名を対象に講習会を一回実施した。

10 修理事業

会員の要望により研磨、白鞘等の新調・補修など、保存上、適切な指導をした。

11 協会所属団体等に関する事業

協会所属団体である全日本刀匠会、美術刀剣研磨技術保存会、美術刀剣外装技術保存会の三団体が相互の親睦と交流を深めた。

12 会員及び支部の状況

平成十八年度末日現在の会員数
普通会員 六、二九三名

（うち海外会員二六三名）

学生会員 二四名
終身会員 九九名

（うち海外会員九名）

維持会員 一八名
優遇会員 三九名

計 六、四七三名

支部は現在、八〇支部（うち海外二支部）である。

財産目録
平成19年3月31日現在

| 科 目 | 摘 要 | 金 額 | |
|-----------|------------------------|-------------|---------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | 106,457,931 | |
| 現金・預金 | 手元現金有高 | 1,910,061 | |
| 現預金 | みずほ銀行初台支店 | 88,780,645 | |
| 普通預金 | 三菱東京UFJ銀行新宿中央支店 | 368,208 | |
| 〃 | 住友信託銀行新宿支店 | 95,979 | |
| 〃 | 中央三井信託銀行本店営業部 | 107,240 | |
| 〃 | 八千代銀行代々木支店 | 5,115,370 | |
| 郵便貯金 | 代々木郵便局 | 10,080,428 | |
| 未収入金 | | | 48,921,097 |
| 審査未収入金 | 保存・特別保存刀剣等審査料 2,026件 | 41,212,500 | |
| 〃 | 重要・特別重要刀剣等指定料 46件 | 5,082,000 | |
| 広告料未収入金 | 刀剣美術広告料 7件 | 135,450 | |
| 保険料立替未収入金 | 支部鑑賞会保険料 3件 | 59,250 | |
| 出版費未収入金 | 出版費未収入金 21件 | 2,431,897 | |
| 販売用書籍 | 日本刀講座その他 | 23,500,650 | 23,500,650 |
| 製成品 | 玉鋼製品在庫 | 50,594,390 | 50,594,390 |
| 半製品 | 玉鋼（ケラ） | 6,080,998 | 6,080,998 |
| 原材料 | 木炭・砂鉄 | 5,992,511 | 5,992,511 |
| 立替金 | | | 120,000 |
| 流動資産合計 | | | 241,667,577 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | みずほ銀行初台支店 | | 1,384,284 |
| 建物 | 本館鉄筋コンクリート4階建 1475.78㎡ | 52,216,045 | |
| | 荷とき場 鉄筋コンクリート3階建 | 3,967,180 | 56,183,225 |
| 土地 | 渋谷区代々木4-25 893.54㎡ | | 53,660,000 |
| 投資有価証券及預金 | | | 900,000,000 |
| 国債 | 第207回利付国債（10年） | 30,198,000 | |
| 〃 | 第244回利付国債（10年） | 302,661,314 | |
| 〃 | 第251回利付国債（10年） | 150,149,178 | |
| 〃 | 第273回利付国債（10年） | 99,950,287 | |
| 公債 | 第281回大阪府公募公債（10年） | 99,803,835 | |
| 〃 | 兵庫県平成17年度第4回公募公債（10年） | 99,903,561 | |
| 〃 | 埼玉県平成17年度第4回公募公債（10年） | 99,476,000 | |
| 定期預金 | みずほ銀行初台支店 | 17,857,825 | |
| 刀剣及小道具 | 刀剣類財産台帳記載のとおり | | 715,250,000 |
| 基本財産合計 | | | 1,726,477,509 |

| 科 目 | 摘 要 | 金 額 | | |
|-------------|--|----------------------------------|-------------------------|-----------------|
| (2) その他固定資産 | | | | |
| 建 物 | 鉄骨造高殿他 作刀鍛練道場（鳥上工場敷地内） 日本刀鍛練道場（　　） | 1,932,211 70,900 1,373,716 | | |
| 建 物 附 属 設 備 | 高殿給排水設備他 本館空調設備他 | 329,193 10,447,318 | 3,376,827 10,776,511 | |
| 構 築 物 | 砂鉄運搬路他 赤羽刀記念碑他 | 1,644,039 6,251,661 | | 7,895,700 |
| 機 械 装 置 | たたら炉他 | | | 3,860,396 |
| 器 具 備 品 | 備品台帳記載のとおり | | | 5,242,414 |
| 土 地 | 長野県小県郡真田町菅平山林 1,030㎡ | | | 300,000 |
| 刀 剣 及 小 道 具 | 刀剣類財産台帳記載のとおり | | | 110,572,809 |
| 研 修 用 教 材 | 研修用太刀・刀・脇差 61点 | | | 6,322,000 |
| 絵 画 | 日本画・洋画・書・レリーフ他 11点 | | | 4,800,000 |
| 図 書 及 押 型 | 網屋押型・竹屋秘伝書日本の鏝他 | | | 8,960,000 |
| 試 作 刀 資 料 | 玉鋼試作刀資料 22口 | | | 22 |
| 減価償却引当預金 | | | | 380,000,000 |
| 定 期 預 金 | みずほ銀行初台支店 | 50,000,000 | | |
| 〃 | 住友信託銀行新宿支店 | 10,000,000 | | |
| 〃 | 三菱東京UFJ銀行新宿中央支店 | 120,000,000 | | |
| 債 券 | 日興コーディアル証券 | 100,000,000 | | |
| 〃 | 野村證券 | 100,000,000 | | |
| 退職給与引当預金 | | | | 70,792,070 |
| 定 期 預 金 | みずほ銀行初台支店 | 50,792,070 | | |
| 〃 | 中央三井信託銀行本店営業部 | 20,000,000 | | |
| 刀剣学奨学積立預金 | | | | 4,863,763 |
| 定 期 預 金 | みずほ銀行初台支店 | 4,863,763 | | |
| その他の固定資産合計 | | | | 617,762,512 |
| 固 定 資 産 合 計 | | | | 2,344,240,021 |
| 資 産 合 計 | | | | 2,585,907,598 |
| Ⅱ 負 債 の 部 | | | | |
| 1. 流 動 負 債 | | | | |
| 前 受 金 | | | | 26,124,911 |
| 広 告 料 前 受 金 | 刀剣美術広告料44件 | 6,552,000 | | |
| 会 員 前 受 金 | 19年度会員会費 | 19,572,911 | | |
| 仮 受 金 | 職員に対する源泉所得税他 | | | 4,433,991 |
| 負 債 合 計 | | | | 30,558,902 |
| 差 引 正 味 財 産 | | | | 2,555,348,696 |
| (うち基本財産) | | | | (1,726,477,509) |
| (うち普通財産) | | | | (828,871,187) |

以上の通りであります。

平成19年6月5日

財団法人 日本美術刀剣保存協会
会 長 佐 々 淳 行

上記決算書類監査の結果適法正確なるものと認めます。

平成19年6月15日

監 事 萩 原 守
監 事 松 永 廣 吉